

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-171607(P2006-171607A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-367348(P2004-367348)

【国際特許分類】

G 03 G 15/36 (2006.01)

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/00 3 8 2

G 03 G 15/20 5 0 5

G 03 G 21/00 3 8 4

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成用のトナーを用いて記録材に画像を形成する工程と、画像形成用のトナーを用いて形成された記録材上の画像を熱定着する工程と、

前記記録材の前記画像形成用トナーの形成位置と重ならない位置に、画像形成用のトナーよりも定着適正温度の下限温度が低い接着用のトナーを形成する工程と、記録材上に形成された接着用のトナーを熱定着する工程と、を有することを特徴とする画像形成方法。

【請求項2】

画像形成用のトナーを用いて画像を形成する画像形成ユニットを接着用のトナーを形成する画像形成ユニットに交換する工程を有し、画像形成ユニットの交換に伴い定着温度を切替えることを特徴とする請求項1に記載の画像形成方法。

【請求項3】

画像形成用のトナーを用いて画像を形成する複数の画像形成ユニットのうち所定の画像形成ユニットを接着用のトナーを形成する画像形成ユニットに交換する工程を有し、画像形成ユニットの交換に伴い定着温度を切替えることを特徴とする請求項1に記載の画像形成方法。

【請求項4】

前記接着用のトナーを記録材で挟んで加熱することで前記接着用のトナーを挟む面が互いに接着されることを特徴とする請求項1乃至3いずれかに記載の画像形成方法。

【請求項5】

前記接着用のトナーが内側となるように前記記録材を折りたたむ工程を有し、前記接着用のトナーは、この折りたたみ工程で前記画像形成用トナーと重ならない位置に形成されることを特徴とする請求項1乃至3いずれかに記載の画像形成方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述の目的を達成する本発明は、画像形成用のトナーを用いて記録材に画像を形成する工程と、画像形成用のトナーを用いて形成された記録材上の画像を熱定着する工程と、前記記録材の前記画像形成用トナーの形成位置と重ならない位置に、 画像形成用のトナーよりも定着適正温度の下限温度が低い接着用のトナーを形成する工程と、 記録材上に形成された接着用のトナーを熱定着する工程と、 を有することを特徴とするものである。